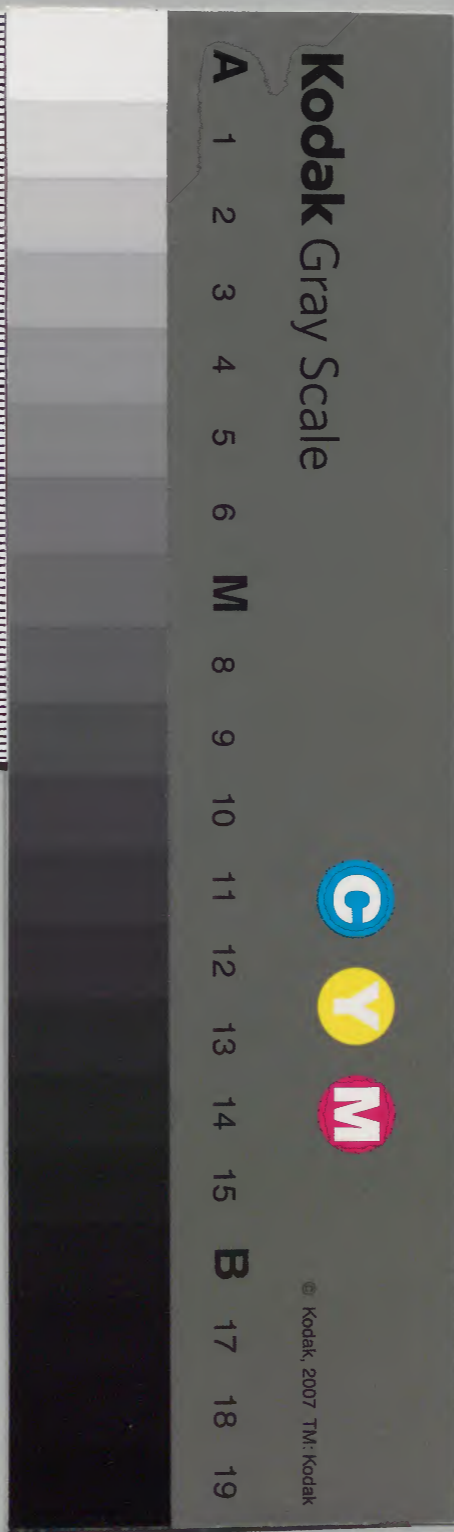


唐土訓蒙圖彙 卷之二
地理

		二七九〇號	和書門
一一册	四架	八七函	類

庫文閣內		二七九〇號	和書
二四函	一一册	二四架	類

內閣文庫	
番號	和 27990
冊數	11 (2)
函號	184 358





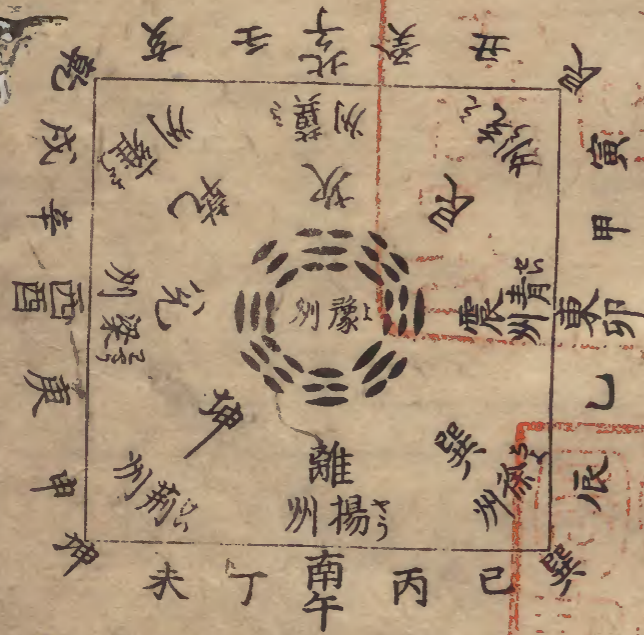
唐土訓蒙圖彙卷之二

和名并
和訓附

地理

此部は萬國中
華よりわが國の
名と俗とありの
をて
乃の
なり

伏羲俯察地理之圖



此圖伏羲の仰天
文とていつか對に
包羲氏俯して一
法を地は觀定
乃の
深く
依乃
察て
易と
作

此輿地全圖ハ予壯年の時或人の家藏とていつて秘蔵す事
 年とあり今幸一あり寫しおとすて合符とてハ昂一圓
 球圖ハ今ハ元本ノ形状とていつて毫厘もさへ
 かく一凹一凸の隈一嶋一川の別もさへ
 只うじらハ内務省ノ國名山川の注しとて
 のとび人さびらさるる也といふ





中華十五省
華夷一統圖

朝鮮國圖



皇清聖祖皇帝御製

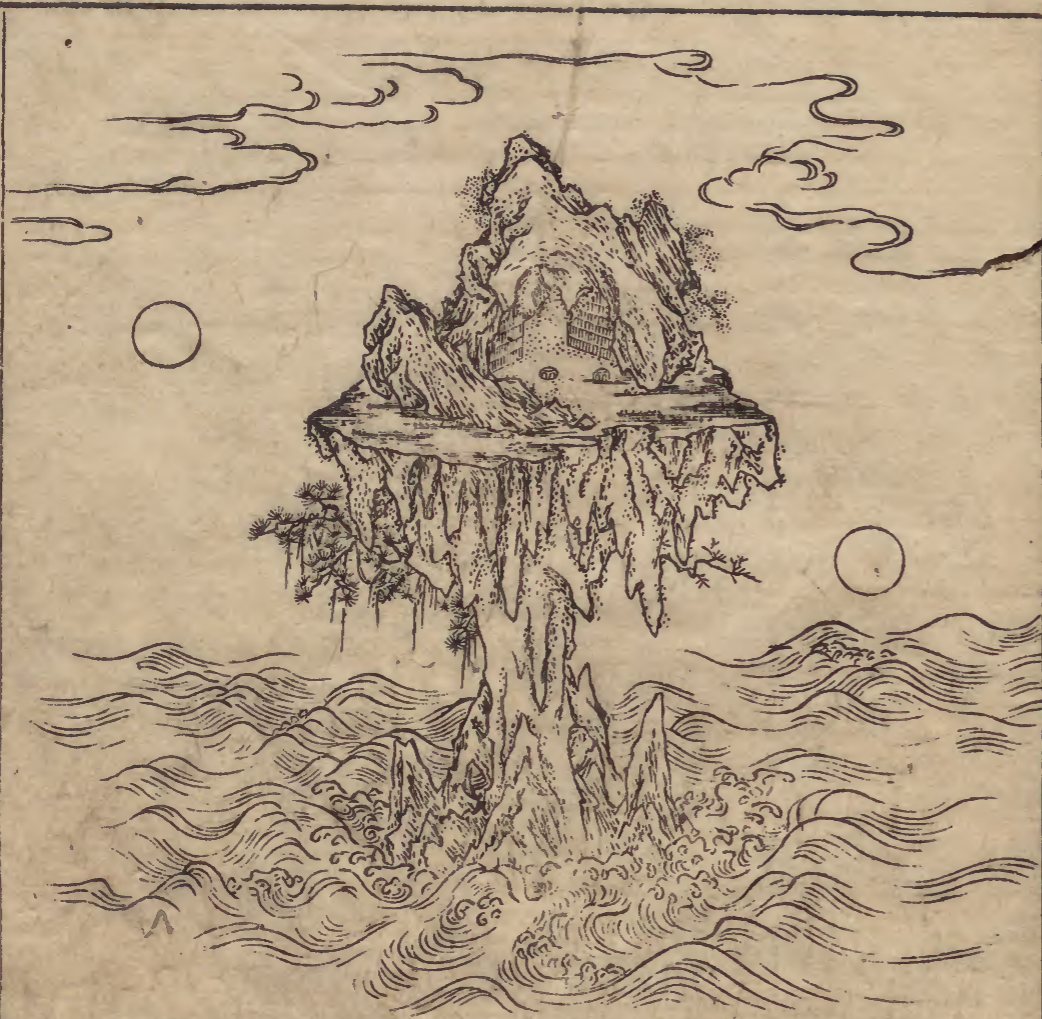
女直元良哈男



南

皇清聖祖皇帝御製

琉球國圖

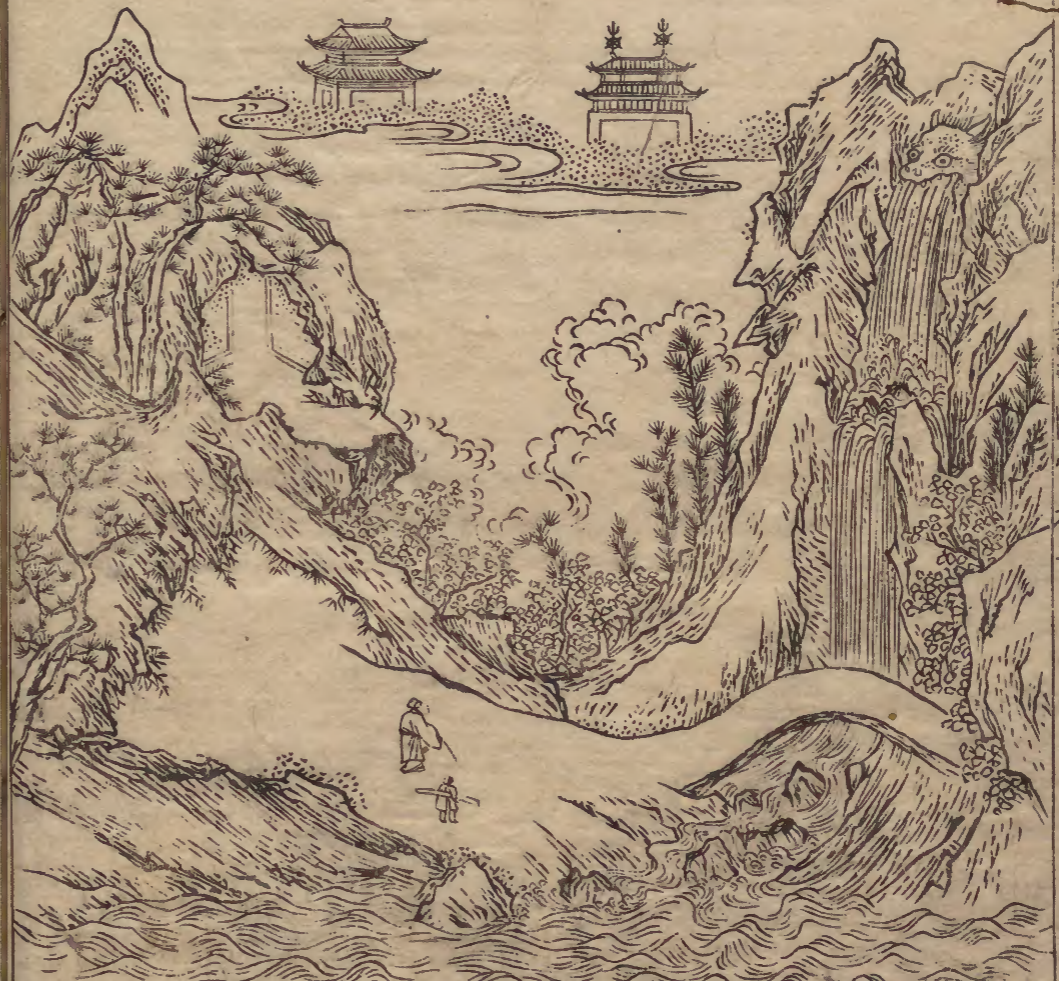


蓬萊山一名ハ雲
蓬丘山一名ハ雲
萊東海の中ハ
あり高と千里
地の方三千里上
に金臺玉闕
ハと神仙の都
上帝遊息ハ此
海水正色ハ此
風々ハ波浪
ハ丈夫人の性
来ハ此山ハ此
飛仙同ハ此
者あり昔高玉
水と治て輪車
ハのハ弱ハ此
て此山ハ此
といハ此

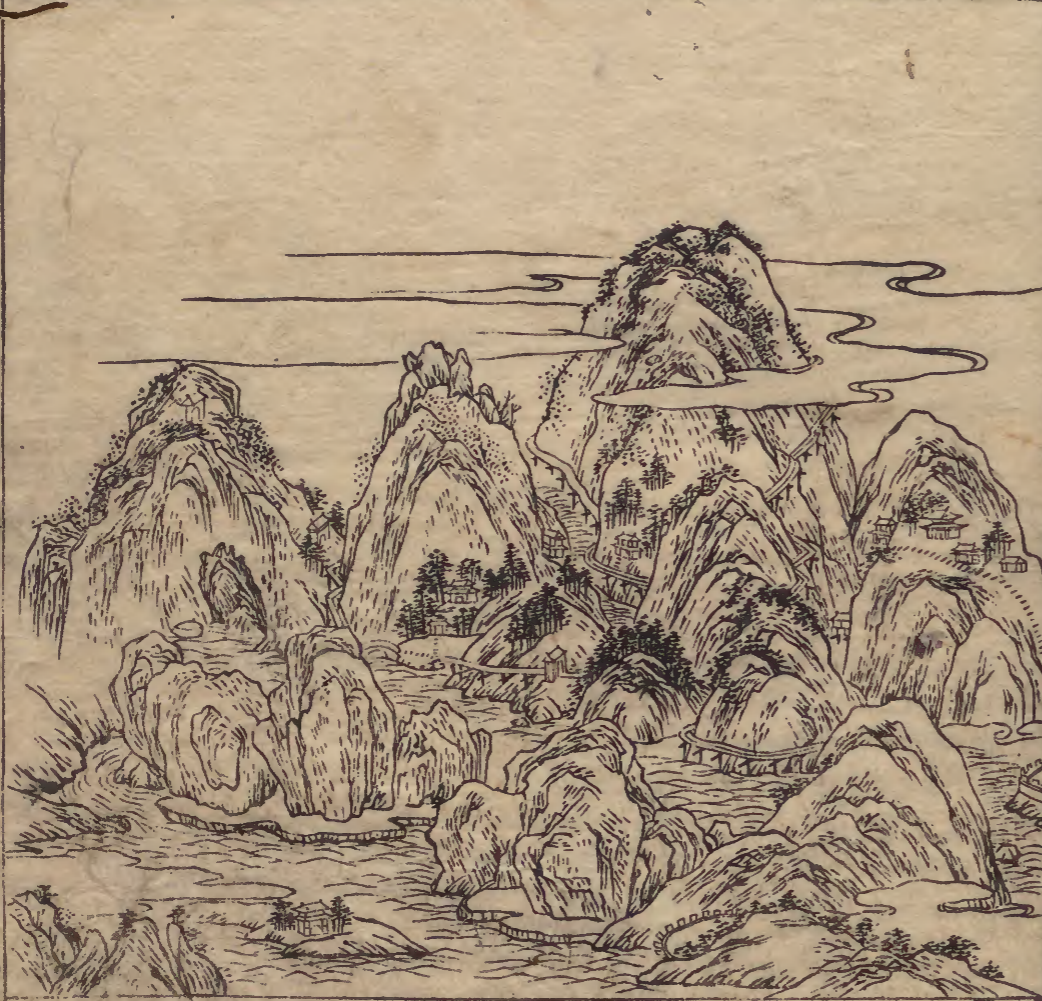


孔子廟
 泮池
 尼山
 泗水
 縣阜曲
 四聖山
 孔子廟
 泮池
 尼山
 泗水
 縣阜曲
 四聖山

孔林
 尼山
 山東
 省の濟南府
 林の魯國也
 府の曲阜縣
 里正山あり
 氏の精
 西昌平山あり
 泗水乃分流
 河ハ聖林の後
 沂河ハ縣門の外
 聖林の中央あり
 墓前碑あり
 家塾而畝の中
 荆棘又ハ林あり
 草と生きたる樹品
 ありては



玉泉山 山頂に
金行宮、芙蓉殿、
山畔に三の石洞を
石崖の上に玉泉の
字を刻り、山下の水
瀦り環十餘里、石浦
菱茨ののり、塔、
遊のを、すれ、
西湖に玉泉の石
小石と刻、
けり、水と、
その、
の、
下、
池、
る、
西湖、
景、
泉、



蜀棧道 せん蜀
入る、
日、
の、
大、
八、
り、
と、
く、
架、
寶、
回、
す、
風、
上、
路、
空、
と、
中、
水、
艱、



洞庭君山 岳州府
 城の西一十里あり
 又湘山と名けり狀ハ
 十二螺髻の如ク
 昔堯の女湘君死
 此より居たり上ハ
 楚興寺軒轅臺
 柳毅井傳書日
 亭也此昇亭響
 山酒香山のり道
 書ハ才十一の福
 地也
 洞庭湖ハ雲夢
 湖青草湖とね
 つりて君山を
 めぐる故に君山を
 洞庭山といふも
 実ありと述



三柳 吳の
 松江のうら三柳
 公府城の西南三十
 六里あり大史公
 ク云柳の言ハ武
 わりといひハさ
 かりハ之亂の陸
 操武帝ハ三柳ハ
 冬温ハ夏涼ハ
 上中下わが故
 三柳といふ浦ハ
 日ハく顔會浦
 大盈浦黃橋門
 斜塘石湖香則
 塔をいふ所京
 地多



唐子訓... 卷二

赤壁山 武昌

府城の東南九十里
あり宋の元豊五
年乃秋七月十六
日蘄東坡楊世
昌といふ者と二人
舟よりりて石を
そへり酒とのりて
このしむ世昌を
討つて蕭とよきて
そのたういふれ
後子これり曹
操のしとのへ人世
のうへとよむれ
つゝは賦をつらぬ
そ文と前赤壁
の賦といふ

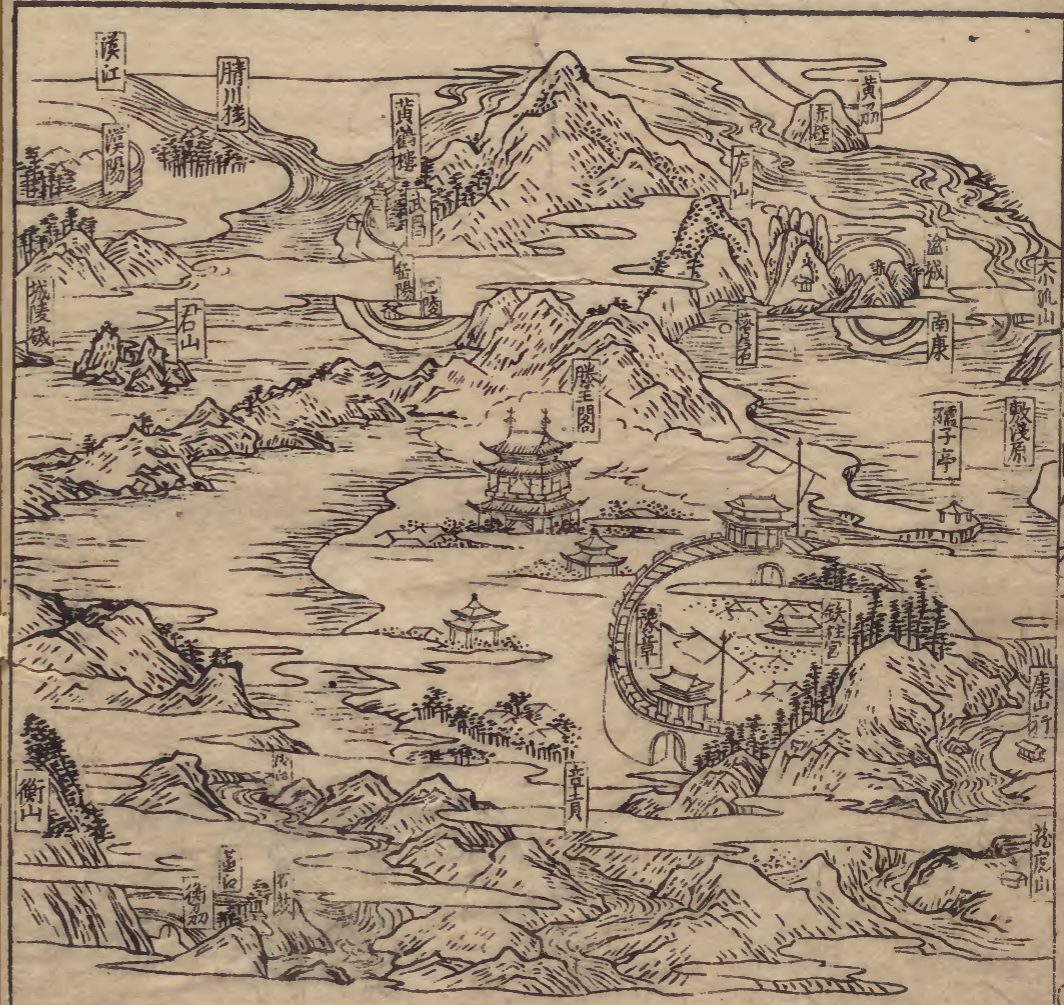


九鯉湖 興化府

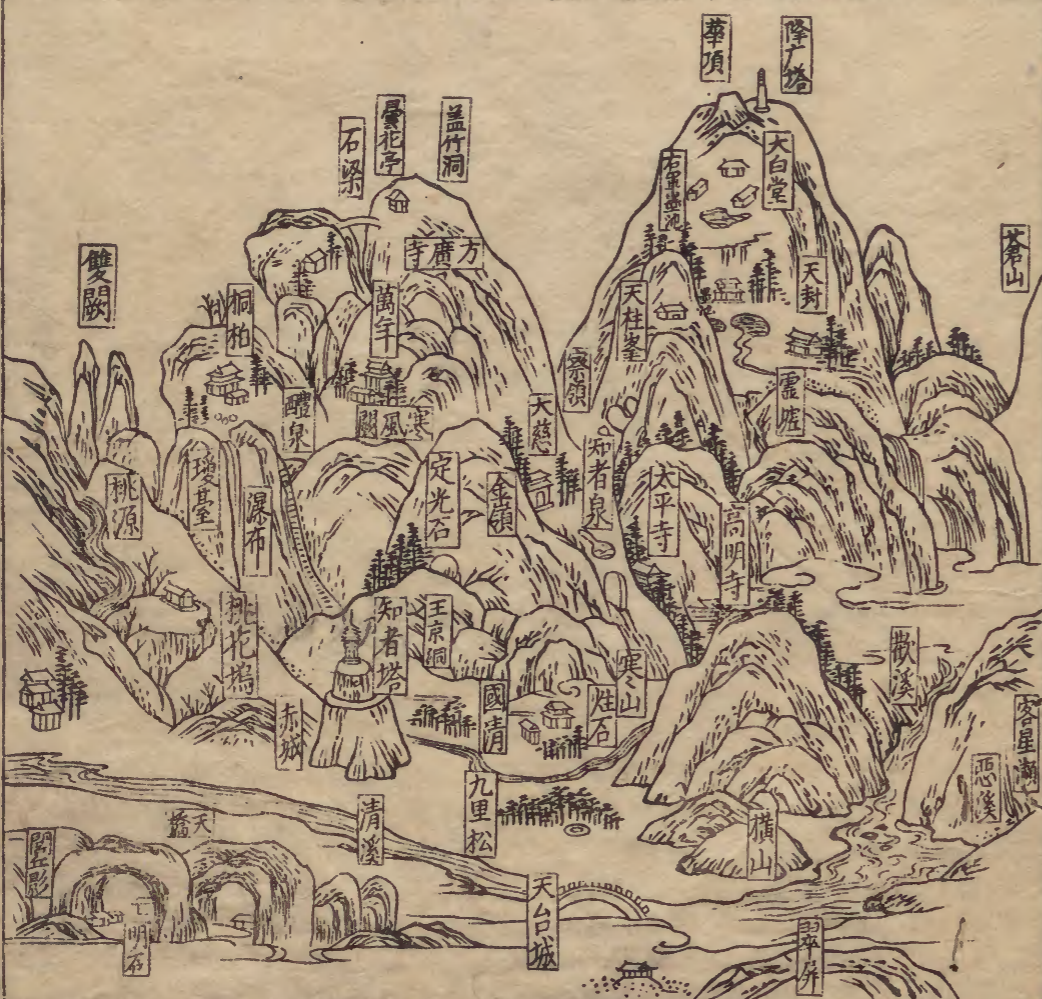
仙遊縣あり九鯉
宮山聳て一峰を
なれ石上は飛龍
ありその水の味其
一漢の時何氏
といふ者兄弟九人
あり此泉と飲ま
しめて仙人とたり
おのゝ鯉の泉
して上昇の故に
俗此と何巖といふ
山と何嶺湖と仙
湖水と仙水縣を
仙遊と名け何氏
仙の故を以たり
九仙宮といふと
験多しといふ



岳陽樓 岳州府
 大岳山の陽にわら
 故に岳陽といふ樓は
 郡治の所在にして
 西面洞庭をたを
 君山なりけり樓乃
 創始されと云とを
 ありて唐の開元年
 中書令張説出
 て此邦に宗廟を
 目こし木と堂院
 して洵と云ふれ
 ありて樓の名あ
 らざれば宋の孫
 宗敬つらつらと
 范希文の記とつ
 らくわつて蘇子美
 と書き郡跡との
 首に纂くると世
 に四絶と稱は



滕王閣 隆興
 府府城の西章
 江門城より西
 りて唐の高祖の
 子元嬰の都
 督とありて閣を
 建らるる滕王
 封とらるる故ふ
 たり南と塵江と
 北と抱秀といふ
 後子圖伯興都督
 とありて此閣を
 修復とす時序
 と王勃十三歳と
 あり名文と今此
 園ハ文よりて洞
 色と云ふ



天台山 天台
 山ハ天台縣の西一
 百二十里天台山上
 八重ありはれと
 高さ一万八千丈周
 廻八百里高天の故
 と以て上天の三山
 星と稱する故台
 嶽と稱はれり此
 寺院若干あり
 その外石橋あり
 半天より垂る瀑
 布ハ瀉て雷壺と
 なり洞天桃源
 乃類多くよ
 く記す

黄鶴樓 武昌
 府城西ありむじ
 費登仙黄鶴
 驚して此に甜心
 故に遂に樓より
 其擣へ魏よりて
 上ハ河漢より下
 江流のそび岳陽
 樓といはれ一
 ぬれん是と
 崔顥登樓詩
 昔人已乘黄鶴去
 此地空餘黄鶴樓
 黄鶴一去不復返
 白雲千載空悠悠
 晴川歷歷漢陽樹
 春洲萋萋鸚鵡洲
 日暮鄉關何處是
 煙波江上使人愁

泰山 東

山東濟南府泰安州あり五嶽の東也一名天孫天帝の孫といふか之を認つて王者命ヲ受つ時ハ必封禪に皆石ヲ刻て功をわらひ



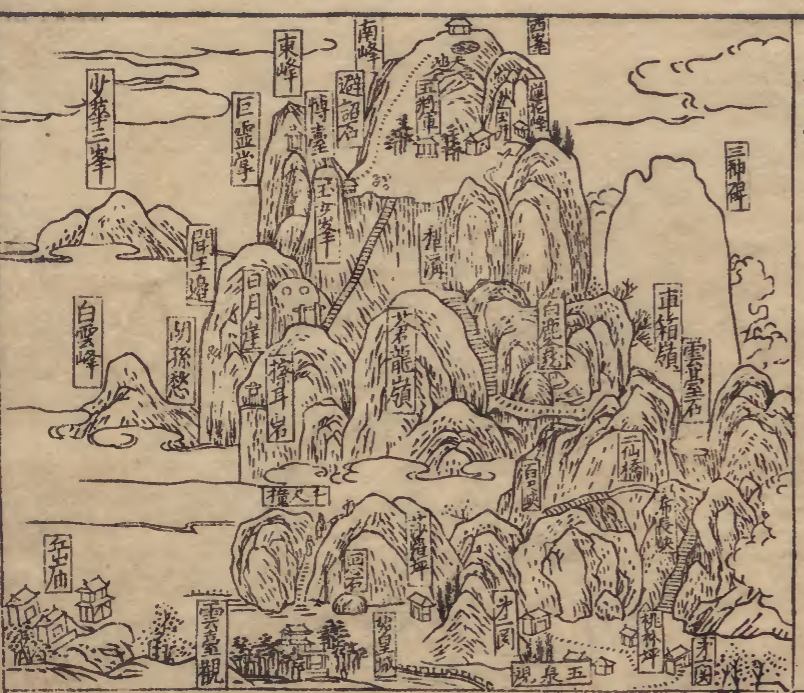
衡山 南

荊州の山鎮五岳の南也周旋數百里高四千一十丈東南ハ湘江のほとり湘川より長沙より七百里九向九背之禹王登之とれとす



華山 西

豫州の山鎮五岳の西あり頂ハ池あり千葉の蓮と生れあれと服すれと化すつて華山といふその名勝旧蹟とくく化す



恒山 北

山西大同府五岳の北あり恒ハ常ニ常山の名も三子九百丈七尺周廻三千里大玄の泉神州十九種とれと依てせと度



高山

河南府登封縣あり中岳
名ありて山東と大室と一と名あり
字ありてと十七里ありて名あり
二山名石ありてなりてなり



雪堂

燕子瞻元豐三年二月
美列は謙るれ中馬正卿より荏田屋と
興りてし雪中に造りてうら
故に四壁に雪と書く雪堂と名づく



羅浮山

增城博羅二縣ありて
邈よ海上のそむる三千六百丈峰密
四百三十二寺棲泉石巖洞池のあり
とくくありて



鹿門山

襄陽城のありて
松の氷裏抱て身隠士の居りて
龐徳公の居りて唐の孟浩然
若帰鹿門歌ありてありて



峩眉山

嘉定州峩眉縣あり

峩眉三山大峩中峩小峩大峩
其高きつりつり佛書り
ナリ普賢大士示現の所なり



養龍坑

長官司兩山の間にあり

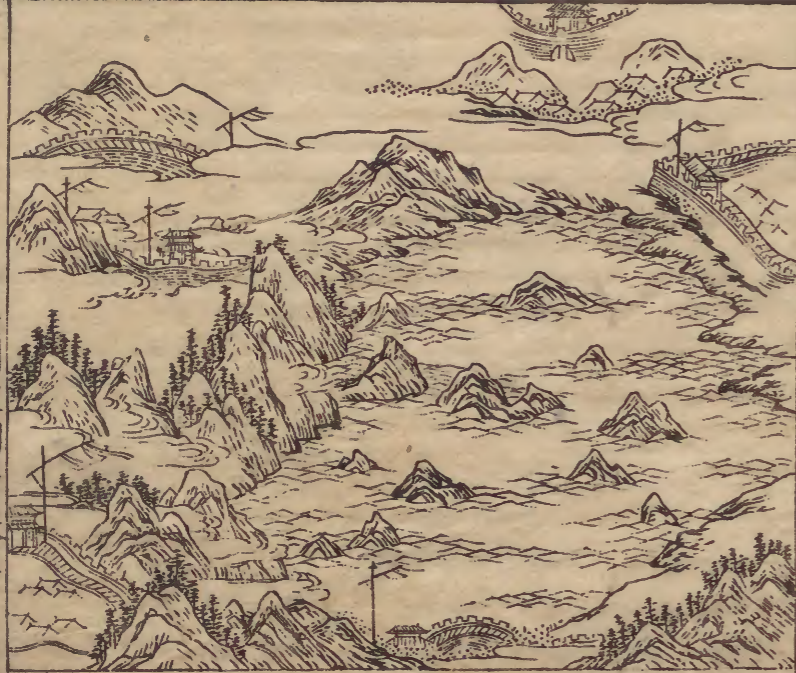
つりの水は源一雲地より下りて
乃以雲霧晦冥際夜ら地ありて
樹て必は於駒と聲び洛武四年
又長大ゆめると名なり



五湖

吳郡の宛ありありその

三萬六千頃中に七拾二ありて三
湖と名づくす大湖といへり



大庾嶺

南安府城の北五里あり

山をく嶺へり嶺ハ山頂の路峻阻
通しと唐の張九齡石壁と
折路とおそり上は梅多一森ハ梅福



石頭城

吳人石頭上據て城を
故いし諸葛亮が石頭虎踞といふ
是なり石頭西山嶺の下大江に臨
り洞あり是も亦洞天といふ



桃源洞

常德府桃源縣桃源山
桃源洞あり一名秦人洞洞の北に
桃花溪あり晋の太元年中武陵の
人秦と避る人ありといふなり



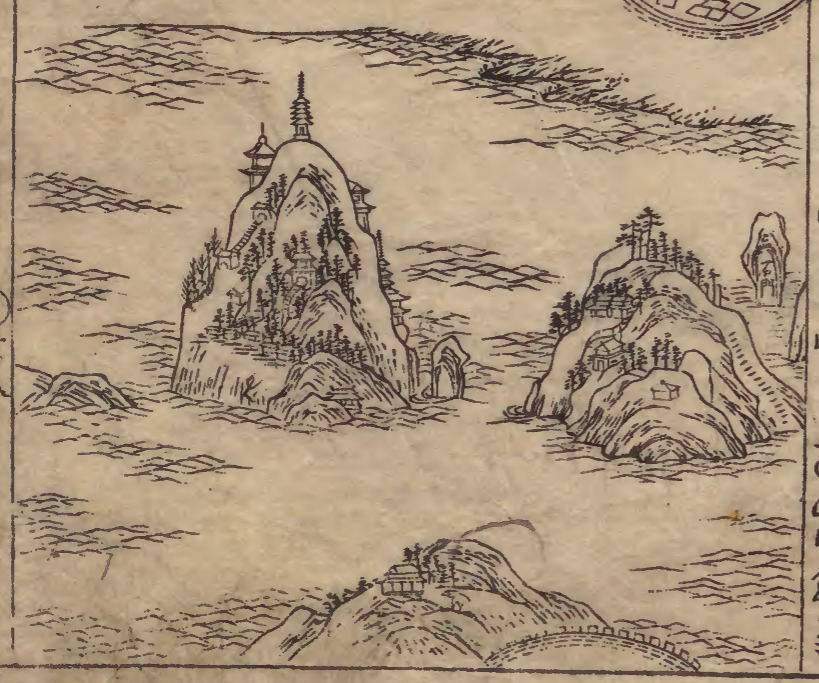
爛柯山

一名石室下は石橋あり
道書に此山と名を歴く廿八の洞天
といふ王質此山に入て童子の
奕とて斧の柯乃爛るる事あり



京口三山

北固山京口城の北あり
下長江のうむ金山の楊子江の心す
ありては東の山と云 焦山京口城の
東北ありお中三峙と云三の山皆絶頂



雲間九峯 所謂雲間はひうの亂の陸雲の雲間陸士龍の語ありてよきて名は九峯ハ秀る峯九のわたりしよまのり



首陽山 蒲州の南あり柏夷叔春かより処の初のお二柏樹あり根の距とも上ハ交て見牙お傍ら二樹もつううやう外とつ小初おの白鹿の野あり二樹薇と含ひ兼鹿乳とのむ故なりといふ



岐山

海州府城の東十五里あり鶴鳴山と聯りて岐山三峯秀て龍江の上に聳たりと十里ありり五代の附僧楚熙ありてあり



廬山

南康郡ありその地三百餘里あり彭蠡と距はハ漢と興有於楚の飛泉絶壑良田の外あり



高沢橋

唐土龍家圖書卷一

三

